

「河道計画・河道設計に係る数値解析技術の高度化と有効活用の好循環形成研究会」による技術資料の作成について

近年の数値解析技術、計算機の性能、条件設定や検証等に用いるデータの観測技術の向上はめざましく、これらを河道計画や河道設計等の実務に取り入れていくことが求められています。この技術の高度化と有効活用の好循環の形成を促すことを目的に、一般社団法人建設コンサルタント協会河川計画専門委員会のご協力のもと、令和 6 年 10 月に建設コンサルタントの有志技術者と土木研究所自然共生研究センター及び河川研究室職員で構成する「河道計画・河道設計に係る数値解析技術の高度化と有効活用の好循環形成研究会」が発足しました。

建設コンサルタント技術者は、実務における数値解析技術の主要なユーザーであり、日常の実務を通じて知見を蓄積し、課題意識を持っています。これらを議論してとりまとめ、技術開発を行う研究者、発注者である行政等の幅広い関係者に示すことで、技術の高度化と有効活用の好循環を促進しようとするものです。まとめられた知見は、行政、国総研、土研等が行う技術基準類の作成等に活用されます。



全体会議の様子



専門部会の様子